

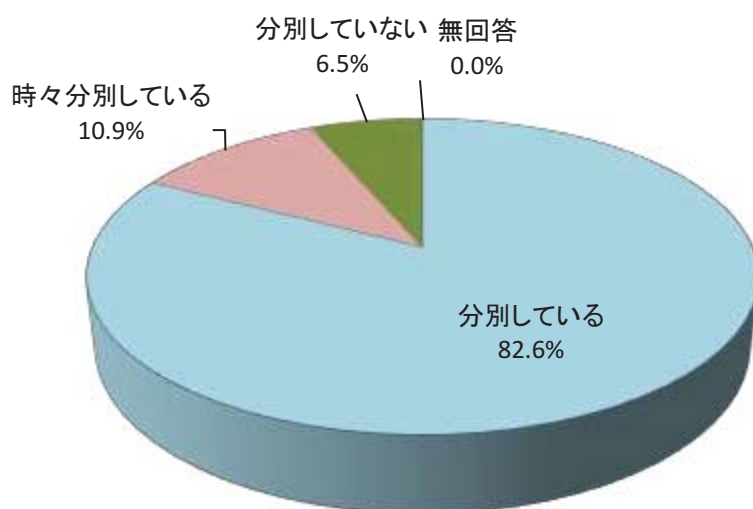
1 3. 資源とごみの分別について

(1) 「プラスチック製容器包装」の排出時の分別状況

◇ 「分別している」が8割強

問 4 4	あなたは、「プラスチック製容器包装（お弁当やお惣菜の容器，お菓子の袋，発泡スチロール製緩衝材など）」を分別して排出していますか。	(○は1つ)
		n=402
1	分別している	82.6%
2	時々分別している	10.9%
3	分別していない	6.5%
	(無回答)	0.0%

<図IV-13-1>全体



n=402

「プラスチック製容器包装（お弁当やお惣菜の容器，お菓子の袋，発泡スチロール製緩衝材など）」の排出時の分別については、「分別している」が82.6%で最も高く，次いで「時々分別している」が10.9%，「分別していない」が6.5%であった。(図IV-13-1)

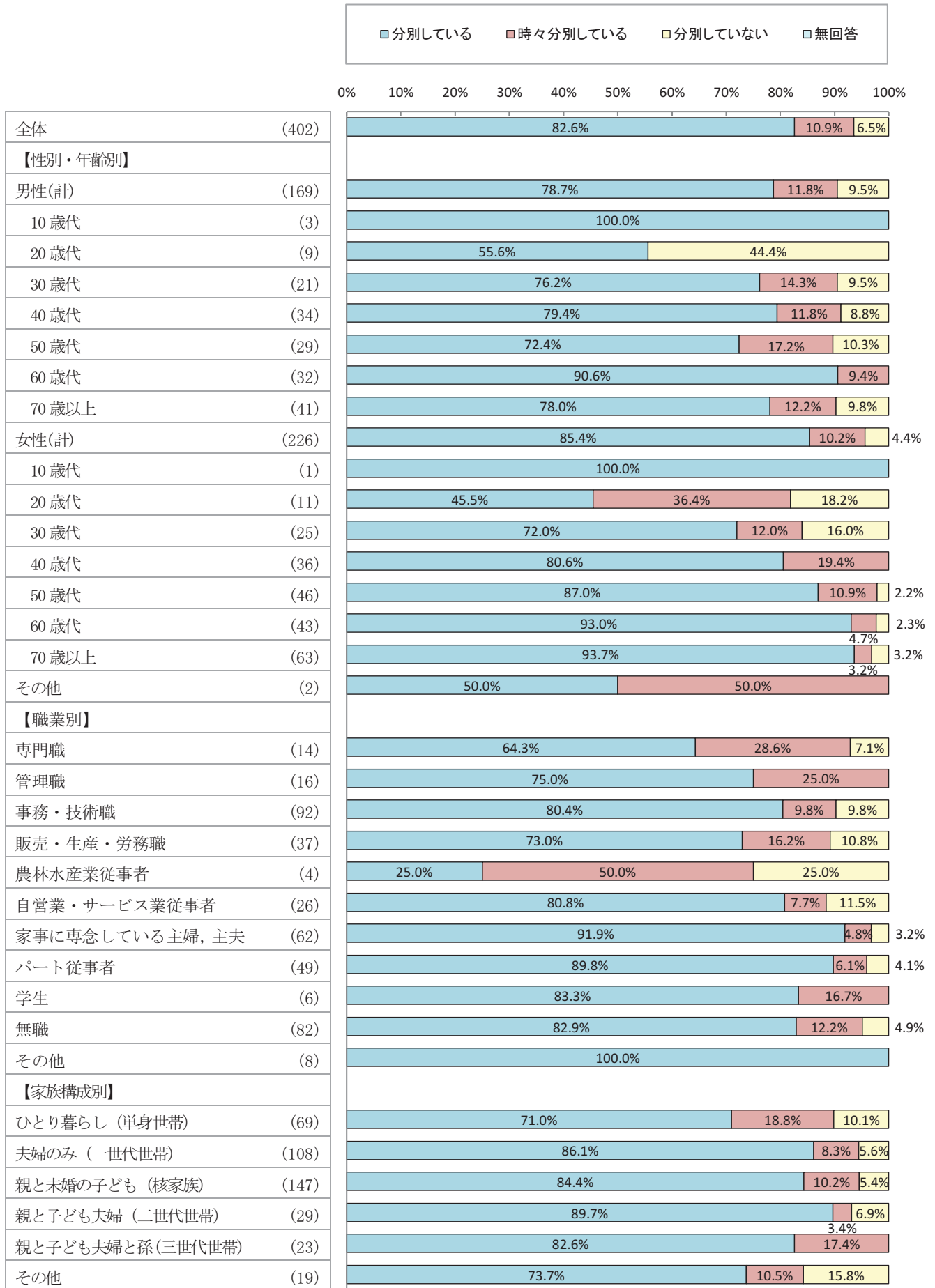
<参考>

性別・年齢別で見ると，「分別している」は<男性/10歳代>と<女性/10歳代>がいずれも100.0%で最も高く，次いで<女性/70歳以上>が93.7%と続いている。一方，「分別していない」は<男性/20歳代>が44.4%で最も高く，次いで<女性/20歳代>が18.2%と続いている。(図IV-13-2)

職業別で見ると，「分別している」は<その他>を除くと<家事に専念している主婦，主夫>が91.9%で最も高く，次いで<パート従事者>が89.8%であった。一方，「分別していない」は<農林水産業従事者>が25.0%で最も高く，次いで<自営業・サービス業従事者>が11.5%であった。(図IV-13-2)

家族構成別で見ると，「分別している」は<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が89.7%で最も高く，次いで<夫婦のみ（一世帯世帯）>が86.1%であった。一方，「分別していない」は<その他>を除くと<ひとり暮らし（単身世帯）>が10.1%で最も高く，次いで<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が6.9%であった。(図IV-13-2)

<図IV-13-2>性別・年齢別／職業別／家族構成別

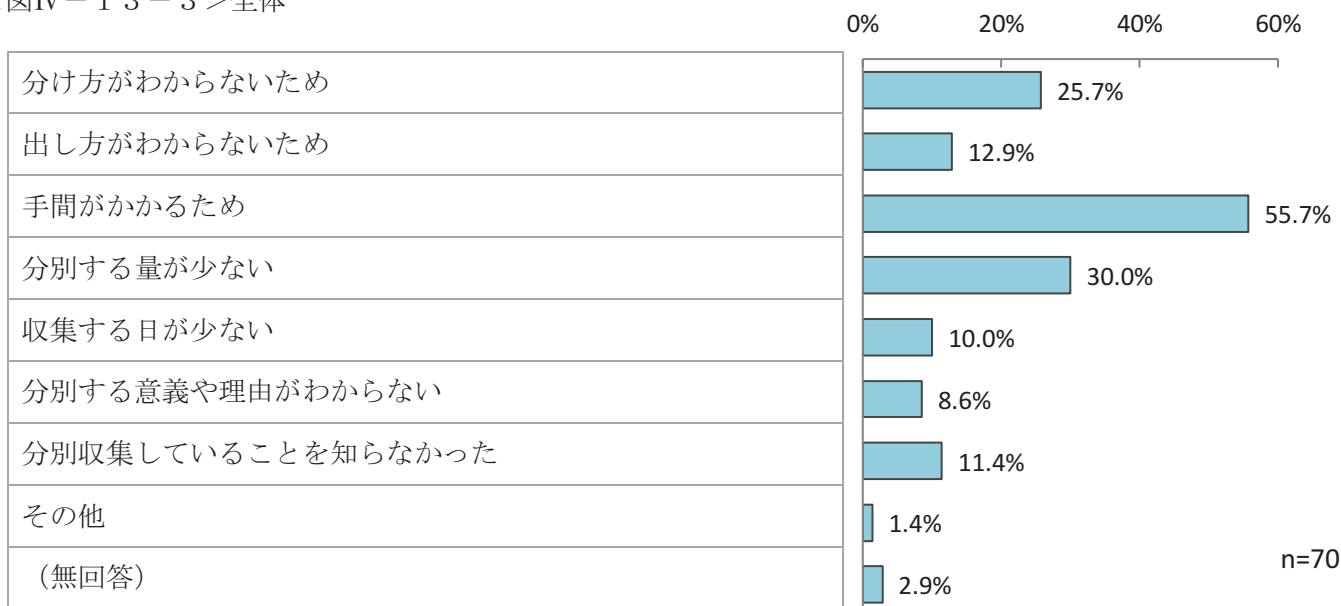


(2) 「プラスチック製容器包装」を分別しない理由

◇ 「手間がかかるため」が5割半ば

問45	問44で「2 時々分別している」、「3 分別していない」と答えた方にお聞きします。時々分別している、分別していない理由は何ですか。	(〇はいくつでも)	n=70
1	分け方がわからないため		25.7%
2	出し方がわからないため		12.9%
3	手間がかかるため		55.7%
4	分別する量が少ない		30.0%
5	収集する日が少ない		10.0%
6	分別する意義や理由がわからない		8.6%
7	分別収集していることを知らなかった		11.4%
8	その他		1.4%
	(無回答)		2.9%

<図IV-13-3>全体



「プラスチック製容器包装」を分別しない理由については、「手間がかかるため」が 55.7%で最も高く、「分別する量が少ない」が 30.0%と続いている。(図IV-13-3)

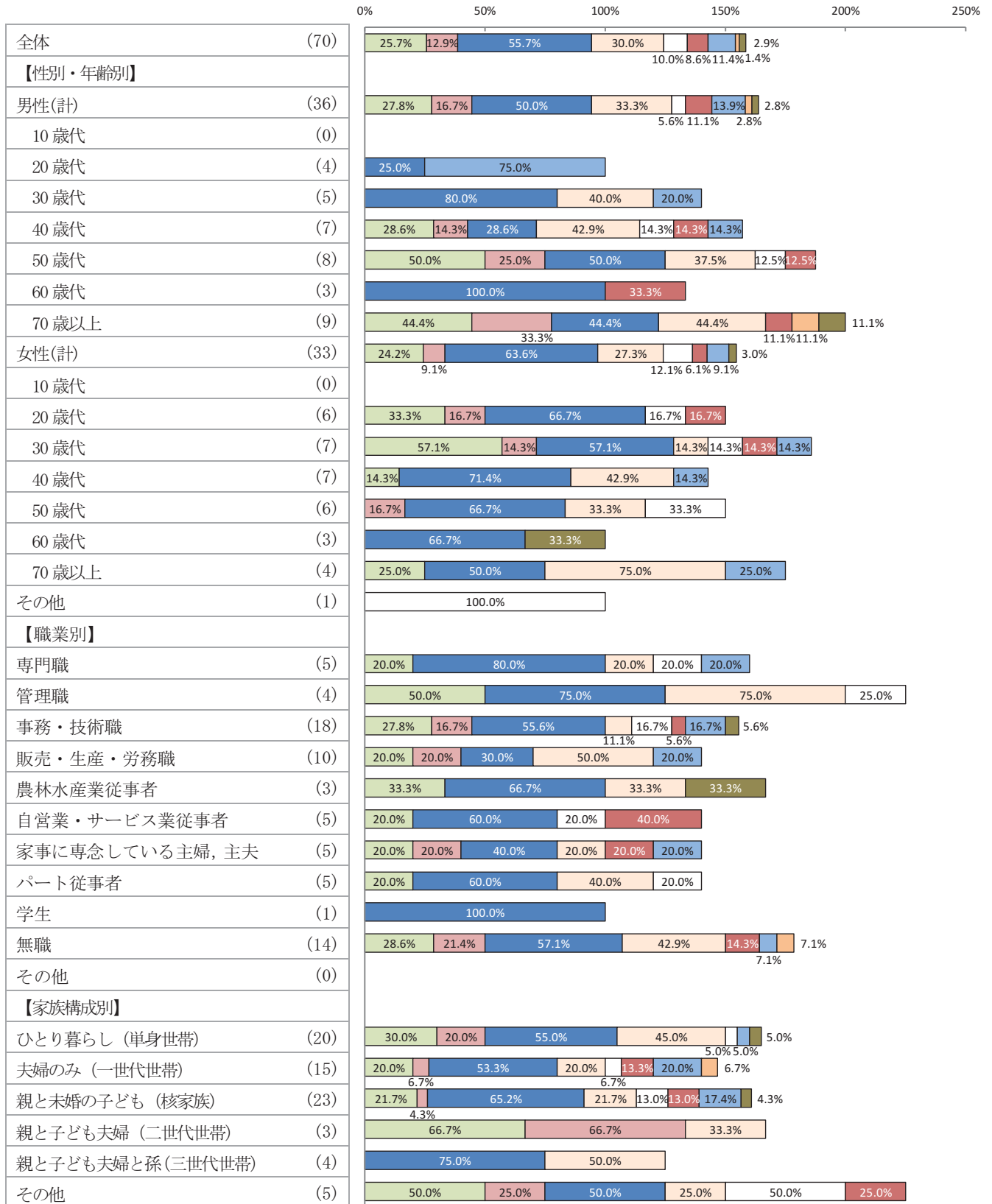
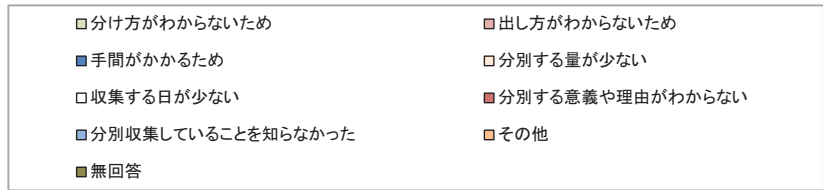
<参考>

性別・年齢別で見ると、「手間がかかるため」は<男性/60歳代>が 100.0%で最も高く、次いで<男性/30歳代>が 80.0%と続いている。「分別する量が少ない」は<女性/70歳以上>が 75.0%で最も高く、次いで<男性/70歳以上>が 44.4%と続いている。(図IV-13-4)

職業別で見ると、「手間がかかるため」は<学生>が 100.0%で最も高く、次いで<専門職>が 80.0%であった。「分別する量が少ない」は<管理職>が 75.0%で最も高く、次いで<販売・生産・労務職>が 50.0%であった。(図IV-13-4)

家族構成別で見ると、「手間がかかるため」は<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が 75.0%で最も高く、次いで<親と未婚の子ども(核家族)>が 65.2%であった。「分別する量が少ない」は<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が 50.0%で最も高く、次いで<ひとり暮らし(単身世帯)>が 45.0%であった。(図IV-13-4)

<図IV-13-4>性別・年齢別／職業別／家族構成別

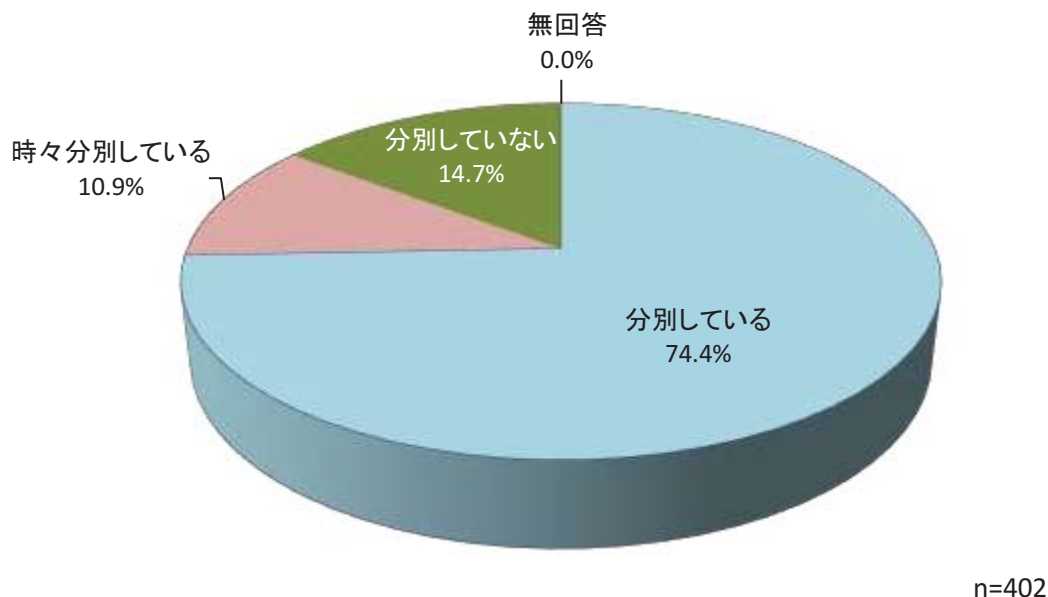


(3) 資源化できる紙の排出時の分別状況

◇ 「分別している」が7割半ば

問46	あなたは、「新聞、雑誌、ダンボール、紙パック」以外にも、資源化できる紙（お菓子や食品が入っていた箱、ティッシュ箱、郵便封筒、メモ用紙など）を分別して排出していますか。	(○は1つ)
		n=402
1	分別している	74.4%
2	時々分別している	10.9%
3	分別していない	14.7%
	(無回答)	0.0%

<図IV-13-5>全体



資源化できる紙の排出時の分別状況については、「分別している」が74.4%で最も高く、次いで「分別していない」が14.7%、「時々分別している」が10.9%であった。(図IV-13-5)

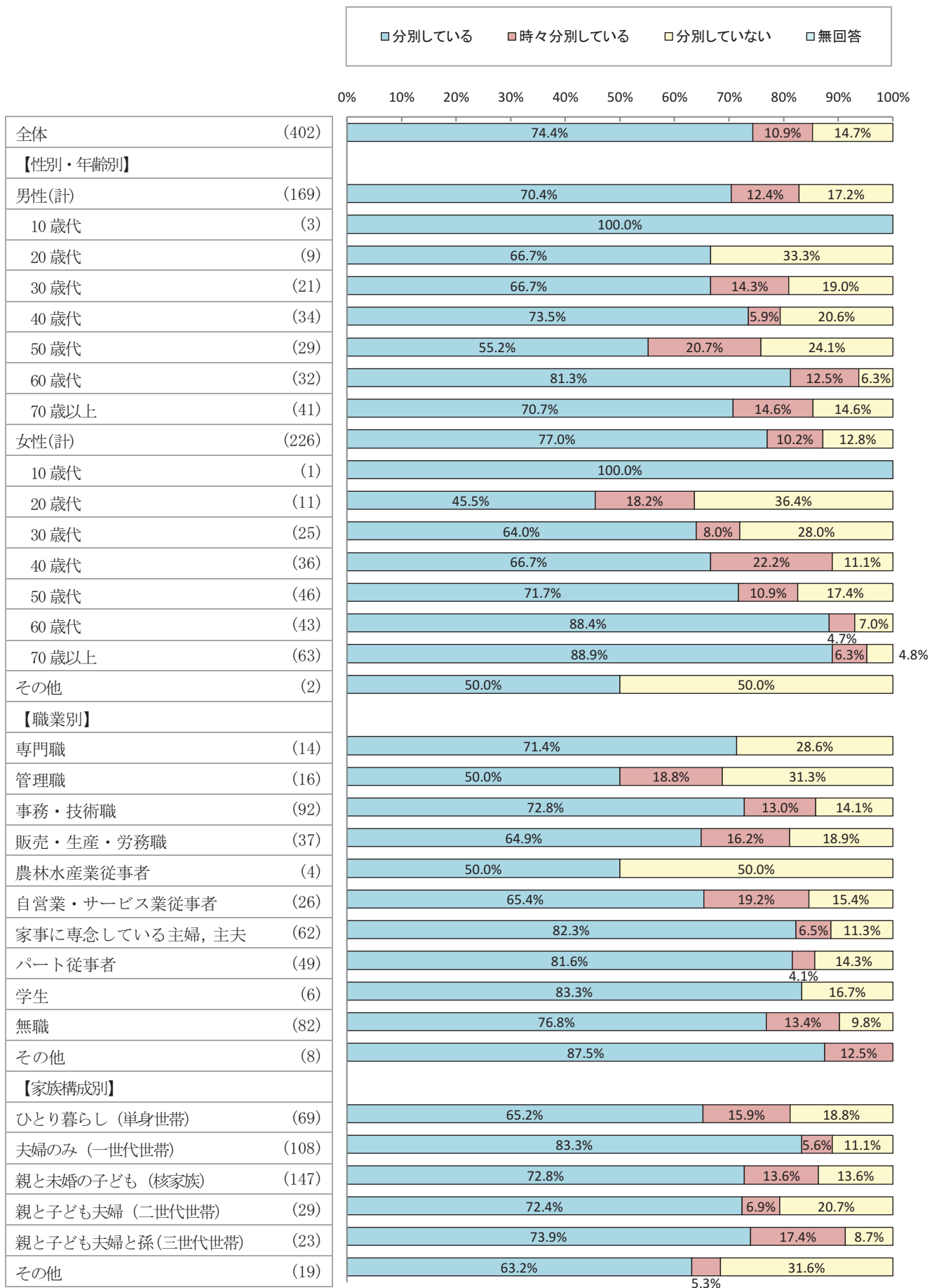
<参考>

年齢別で見ると、「分別している」は<男性/10歳代>と<女性/10歳代>がいずれも100.0%で最も高く、次いで<女性/70歳以上>が88.9%と続いている。一方、「分別していない」は<その他>を除くと<女性/20歳代>が36.4%で最も高く、次いで<男性/20歳代>が33.3%と続いている。(図IV-13-6)

職業別で見ると、「分別している」は<その他>を除くと<学生>が83.3%で最も高く、次いで<家事に専念している主婦、主夫>が82.3%と続いている。一方、「分別していない」は<農林水産業従事者>が50.0%で最も高く、次いで<管理職>が31.3%と続いている。(図IV-13-6)

家族構成別で見ると、「分別している」は<夫婦のみ(一世代世帯)>が83.3%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が73.9%と続いている。一方、「分別していない」は<その他>を除くと<親と子ども夫婦(二世代世帯)>が20.7%で最も高く、次いで<ひとり暮らし(単身世帯)>が18.8%と続いている。(図IV-13-6)

<図IV-13-6>性別・年齢別／職業別／家族構成別

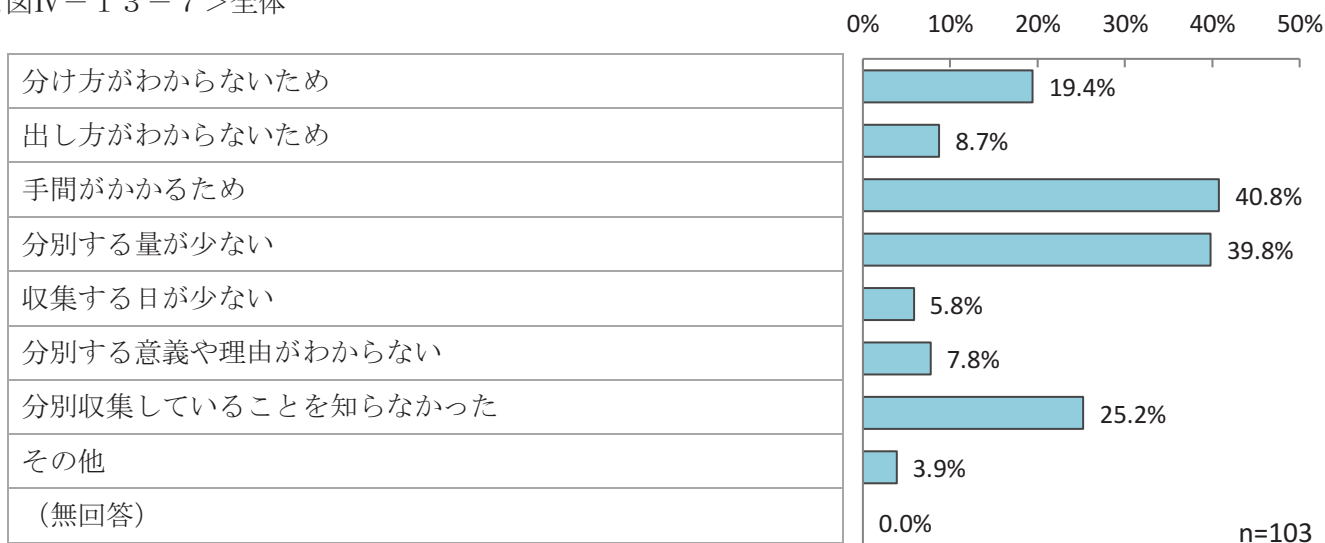


(4) 資源化できる紙を分別しない理由

◇ 「手間がかかるため」が約4割

問47	問46で「2 時々分別している」、「3 分別していない」と答えた方にお聞きします。時々分別している、分別していない理由は何ですか。	(〇はいくつでも)	n=103
1	分け方がわからないため		19.4%
2	出し方がわからないため		8.7%
3	手間がかかるため		40.8%
4	分別する量が少ない		39.8%
5	収集する日が少ない		5.8%
6	分別する意義や理由がわからない		7.8%
7	分別収集していることを知らなかった		25.2%
8	その他		3.9%
	(無回答)		0.0%

<図IV-13-7>全体



資源化できる紙を分別しない理由については、「手間がかかるため」が40.8%で最も高く、次いで「分別する量が少ない」が39.8%と続いている。(図IV-13-7)

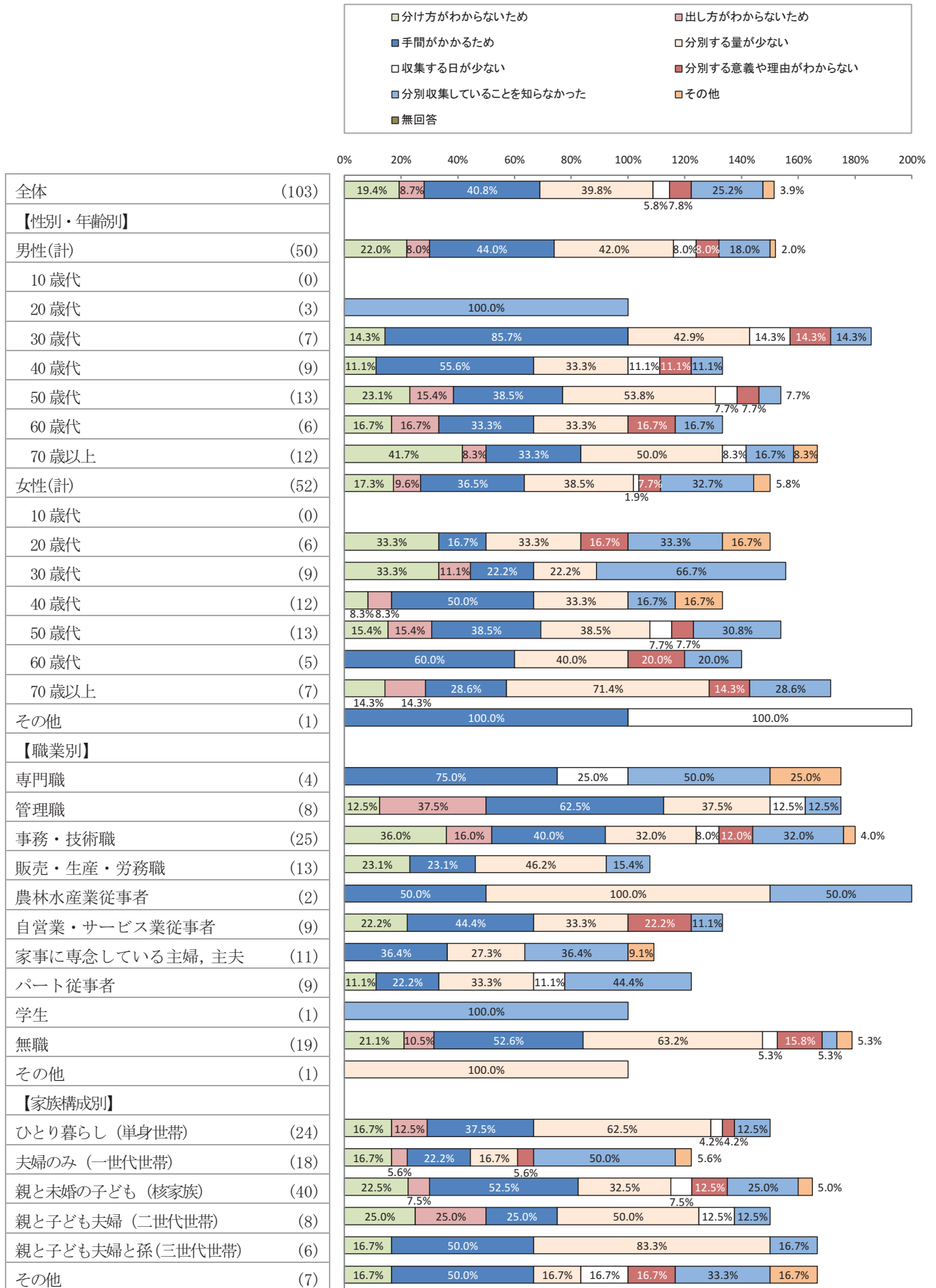
<参考>

性別・年齢別で見ると、「手間がかかるため」は<その他>を除くと<男性/30歳代>が85.7%で最も高く、次いで<女性/60歳代>が60.0%と続いている。「分別する量が少ない」は<女性/70歳以上>が71.4%で最も高く、次いで<男性/50歳代>が53.8%と続いている。(図IV-13-8)

職業別で見ると、「手間がかかるため」は<専門職>が75.0%で最も高く、次いで<管理職>が62.5%であった。「分別する量が少ない」は<その他>を除くと<農林水産業従事者>が100.0%で最も高く、次いで<無職>が63.2%であった。(図IV-13-8)

家族構成別で見ると、「手間がかかるため」は<親と未婚の子ども(核家族)>が52.5%で最も高く、次いで<その他>を除くと<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が50.0%であった。「分別する量が少ない」は<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が83.3%で最も高く、次いで<ひとり暮らし(単身世帯)>が62.5%であった。(図IV-13-8)

<図IV-13-8>性別・年齢別／職業別／家族構成別

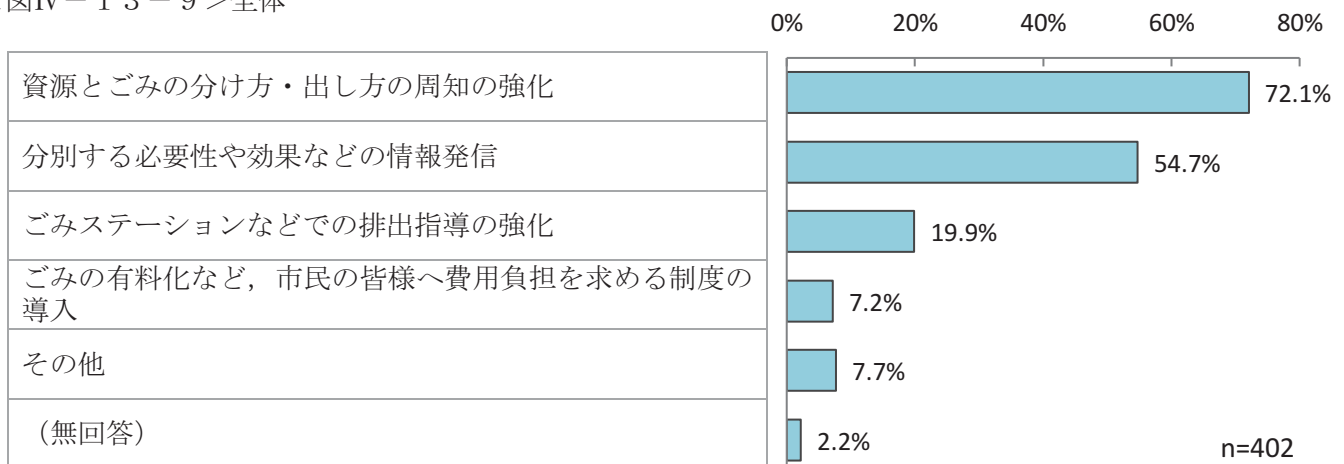


(5) ごみと資源物の分別を推進するために必要なこと

◇「資源とごみの分け方・出し方の周知の強化」が7割強

問48	ごみと資源物の分別を推進するために必要なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)	n=402
1	資源とごみの分け方・出し方の周知の強化	72.1%
2	分別する必要性や効果などの情報発信	54.7%
3	ごみステーションなどでの排出指導の強化	19.9%
4	ごみの有料化など、市民の皆様へ費用負担を求める制度の導入	7.2%
5	その他	7.7%
	(無回答)	2.2%

<図IV-13-9>全体



ごみと資源物の分別を推進するために必要なことについては、「資源とごみの分け方・出し方の周知の強化」が72.1%で最も高く、次いで「分別する必要性や効果などの情報発信」が54.7%と続いている。(図IV-13-9)

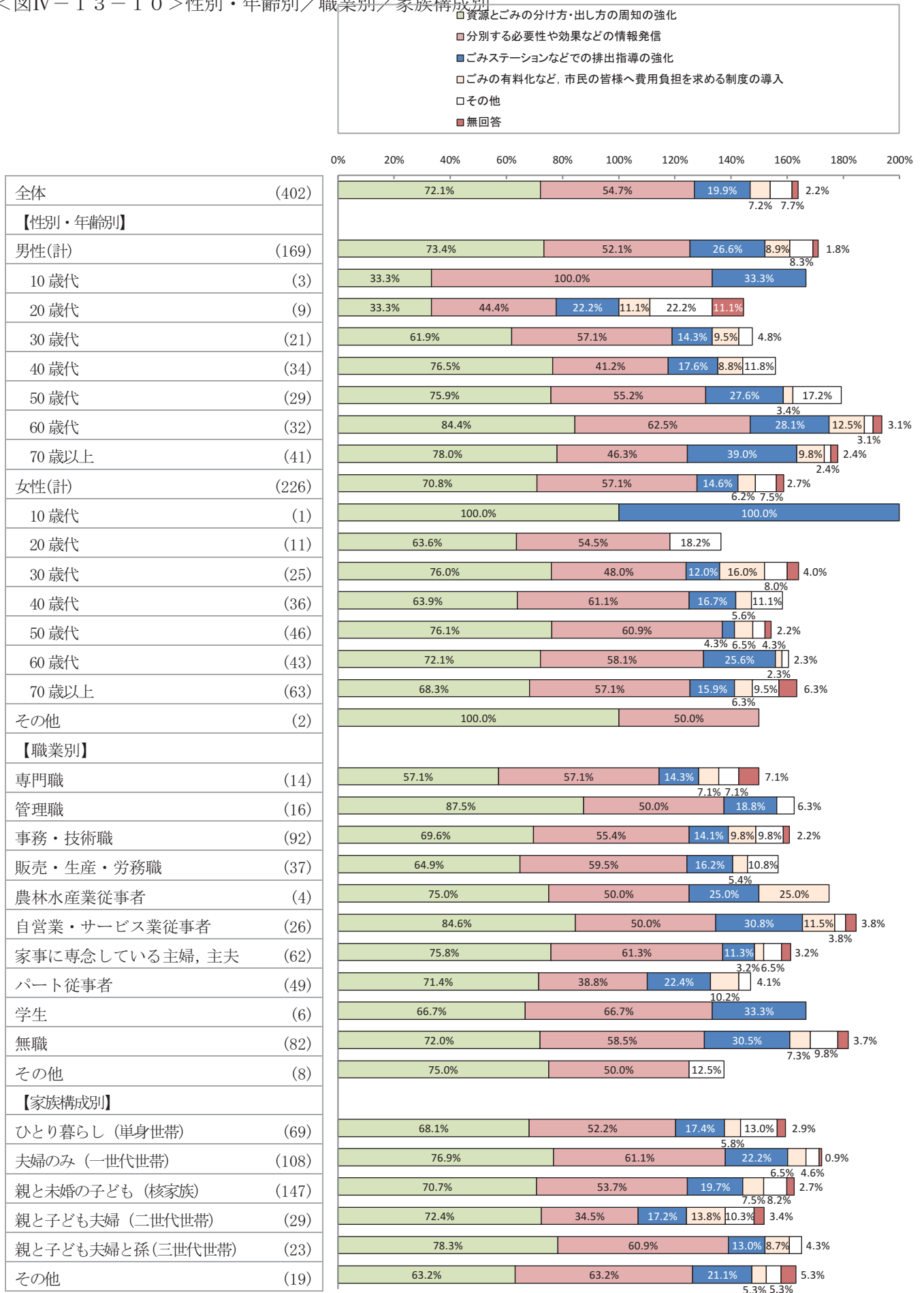
<参考>

性別・年齢別で見ると、「資源とごみの分け方・出し方の周知の強化」は<その他>を除くと<女性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<男性/60歳代>が84.4%と続いている。「分別する必要性や効果などの情報発信」は<男性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<男性/60歳代>が62.5%と続いている。(図IV-13-10)

職業別で見ると、「資源とごみの分け方・出し方の周知の強化」は<管理職>が87.5%で最も高く、次いで<自営業・サービス業従事者>が84.6%であった。「分別する必要性や効果などの情報発信」は<学生>が66.7%で最も高く、次いで<家事に専念している主婦、主夫>が61.3%であった。(図IV-13-10)

家族構成別で見ると、「資源とごみの分け方・出し方の周知の強化」は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が78.3%で最も高く、次いで<夫婦のみ(一世帯世帯)>が76.9%であった。「分別する必要性や効果などの情報発信」は<その他>を除くと<夫婦のみ(一世帯世帯)>が61.1%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が60.9%であった。(図IV-13-10)

<図IV-13-10>性別・年齢別／職業別／家族構成別

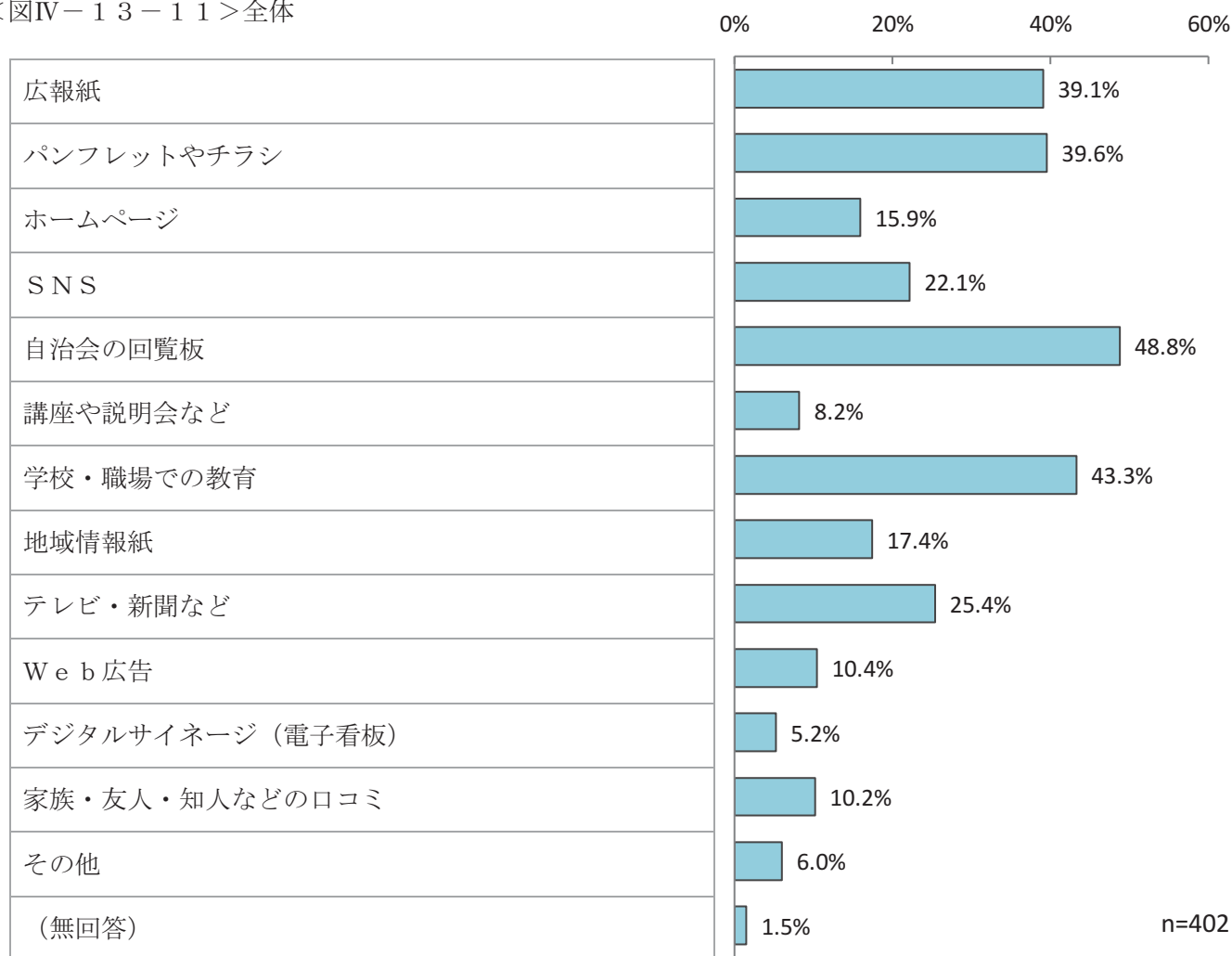


(6) ごみと資源物の分別の周知方法として有効な取組

◇ 「自治会の回覧板」が約5割

問49 ごみと資源物の分別の周知方法として、有効な取組はどれだと思いますか。(〇はいくつでも)		n=402
1	広報紙	39.1%
2	パンフレットやチラシ	39.6%
3	ホームページ	15.9%
4	SNS	22.1%
5	自治会の回覧板	48.8%
6	講座や説明会など	8.2%
7	学校・職場での教育	43.3%
8	地域情報紙	17.4%
9	テレビ・新聞など	25.4%
10	Web広告	10.4%
11	デジタルサイネージ(電子看板)	5.2%
12	家族・友人・知人などの口コミ	10.2%
13	その他	6.0%
	(無回答)	1.5%

<図IV-13-11>全体



ごみと資源物の分別の周知方法として有効な取組については、「自治会の回覧板」が 48.8%で最も高く、次いで「学校・職場での教育」が 43.3%と続いている。(図IV-13-11)

<参考>

上位6項目について、性別・年齢別で見ると、「自治会の回覧板」は<男性/70歳以上>が 75.6%で最も高く、次いで<女性/60歳代>が 74.4%と続いている。「学校・職場での教育」は<その他>を除くと、<女性/10歳代>が 100.0%で最も高く、次いで<男性/10歳代>が 66.7%と続いている。(図IV-13-12)

職業別で見ると、「自治会の回覧板」は<農林水産業従事者>が 75.0%で最も高く、次いで<自営業・サービス業従事者>が 61.5%であった。「学校・職場での教育」は<専門職>が 64.3%で最も高く、次いで<その他>を除くと<事務・技術職>が 53.3%であった。(図IV-13-12)

家族構成別で見ると、「自治会の回覧板」は<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が 58.6%で最も高く、次いで<夫婦のみ（一世帯世帯）>が 56.5%であった。「学校・職場での教育」は<親と未婚の子ども（核家族）>が 53.7%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が 44.8%であった。(図IV-13-12)

<図IV-13-12>性別・年齢別/職業別/家族構成別（上位6項目）

